

時間	果樹 I 212	果樹 II 222	果樹 III 231	野菜 I 125	野菜 II 127	野菜 III 136
9:00	リンゴ 1 小森貞男 果 001 赤肉リンゴ品種 ‘HFF60’ の果肉はなぜ成熟果のみで 熱耐壊するのかわ 中込光穂 ¹ ・藤田知道 ² ・ 佐藤早希 ² ・林田大志 ² ・ ○松本和浩 ^{1,3} (¹ 岐阜大連合 農学研究科, ² 弘前大農学生 命科学部, ³ 静岡大農学部)	カンキツ 1 山崎安津 果 018 閉鎖型光合成計測システム を用いたハウスミカン群落 光合成の推定 ○矢野拓 ¹ ・田邊秀和 ¹ ・ 斎藤雅彦 ² ・南真佐雄 ² ・ 西口修司 ² ・但田育直 ² ・ 堀越瑞貴 ² ・野村浩一 ² ・ 日高功太 ³ (¹ 大分農林水研, ² 高知大 IOP 共創セ, ³ 農研 機構九冲研)	ニホンナシ 1 森本拓也 果 036 ニホンナシ ‘天空のしずく’ の結実特性 ○等々力友也 ¹ ・金丸京平 ¹ ・ 大迫祐太郎 ² (¹ 長野南信農試, ² 信州大農学部)	遺伝子解析 1 近藤文哉 野 001 栽培イチゴにおけるキャピ ラリーゲル電気泳動を用い た AFLP マーカー検出技術 の検討 ○志賀由絃 ¹ ・木之瀬翔 ¹ ・ 富永見好 ¹ (¹ 静岡大・院農, ² 葛屋あとろあ)	トウガラシ・ピーマン・ パプリカ 磯山陽介 野 016 甘長トウガラシにおけるト パモウイルス抵抗性系統の 育成 ○吉良智絵 ¹ ・尾崎耕 ¹ ・ 鍋島恰和 ² ・細美祐子 ¹ (¹ 高知県農業セ, ² 高知県農 業振興部)	トマト 1 菊地都 野 032 愛知県で単離した TYLCV の組換え体はトマトの <i>Ty-1</i> による抵抗性を打破する ○中島望咲 ¹ ・霜出萌乃 ¹ ・ ボハンナディア シャフィラ ¹ ・ 丹羽理恵子 ² ・角田鈴奈 ² ・ クワック ミョンワン ³ ・ キルユイジュン ³ ・小枝壮太 ¹ (¹ 近畿大院農学研究科, ² 公財 園芸植物育種研, ³ Gyeongkuk National University)
9:15	果 002 リンゴの花に含まれるサビ 果誘発性物質の探索 ○北本尚子 ¹ ・野下浩二 ¹ ・ 沢井佑 ^{2,4} ・権平恵子 ¹ ・ 大島一澄 ¹ ・稲垣晴斗 ¹ ・ 木澤虹晴 ¹ ・高橋栄子 ¹ ・ 對馬暉武 ¹ ・袴田征毅 ¹ ・ 山本真理奈 ¹ ・小野寺千華 ¹ ・ 吉田康徳 ¹ ・神田博臣 ¹ ・ 今西弘幸 ³ (¹ 秋田県大生物 資源科学部, ² 秋田県大院生 物資源科学研究科, ⁴ 道総研, ³ 秋田県 AIC)	果 019 ¹³ C トレーサー法による片 面交互結実栽培樹の光合成 産物の転流および樹勢向上 の要因 ○江本勇治 ¹ ・太田知宏 ¹ ・ 安竹英晴 ² ・佐藤景子 ³ ・ 杉山泰之 ³ (¹ 静岡農林技研 果樹研セ, ² 清水農業協同組 合, ³ 静岡県立農林環境専門 職大学・短大)	果 037 ニホンナシ ‘天空のしずく’ の成熟特性および携帯型分 光計を用いた果実熟度の把 握 ○金丸京平・等々力友也 (長野県南信農業試験場)	野 002 作期移動試験によるキャベ ツの苗齢依存的な花成反応 および花成関連遺伝子の解 析 ○會田野乃 ¹ ・木下有羽 ¹ ・ 元木航 ² ・石橋美咲 ¹ ・ 及川彰 ¹ ・田中義行 ¹ ・ 中野能平 ¹ (¹ 京都大院農学 研究科, ² 岡山大院環境生命 科学研究科)	野 017 トウガラシにおけるボレロ ウイルスとベゴモウイルス の複合感染 ○藤村拓平・小枝壮太 (近畿大院農学研究科)	野 033 <i>Ty-1</i> を有するミニトマト品 種における tomato yellow leaf curl virus 抵抗性は高温で崩 壊する ○山崎 類 ¹ ・北脇新大 ¹ ・ 中島望咲 ¹ ・ボハンナディア シャフィラ ¹ ・丹羽理恵子 ² ・ 角田鈴奈 ² ・小枝壮太 ¹ (¹ 近畿大院農学研究科, ² 公財 園芸植物育種研)
9:30	果 003 老木期のわい性木リンゴ 樹における着果位置と生産 効率の関係 ○堀礼人 ¹ ・森谷茂樹 ^{1,2} ・ 木貞佑子 ¹ ・守谷友紀 ¹ ・ 清水拓 ¹ ・澤村豊 ¹ (¹ 農研機 構果茶研, ² 農林水産省)	果 020 片面交互結実栽培法への移 行方法の違いが ‘青島温州’ の翌年の樹体生育に及ぼす 影響 ○太田知宏 ¹ ・江本勇治 ¹ ・ 濱崎櫻 ¹ ・安竹英晴 ² ・ 杉山泰之 ³ (¹ 静岡農林技研 果樹研セ, ² 清水農業協同組 合, ³ 静岡県立農林環境専門 職大短大)	果 038 被覆資材によるニホンナシ ‘にっこり’ における日焼 け及び高温障害の抑制効果 ○岡本春明 ^{1,2} ・須藤貴子 ² ・ 渡邊学 ³ (¹ 岩手大院農学研 究科, ² 栃木農総研セ, ³ 岩手 大農学部附属寒冷フィール ドサイエンス教育研セ)	野 003 花菜 (<i>Brassica rapa</i>) 品種 に潜在する根こぶ病抵抗性 遺伝子座の探索 ○北川舞 ¹ ・北西哲也 ¹ ・ 辻元人 ¹ ・久保中央 ^{1,2} (¹ 京都府立大学院生命環境科 学研究科, ² 京都農機セ生資 セ)	野 018 施設パプリカの 1 果重には 開花前後の日平均気温と果 実成長期間の光合成供給量 が関与する ○本間優・東出忠桐・安東赫 (農研機構野菜花き研究部門)	野 034 遺伝的背景が <i>pat-2</i> と <i>pat-k</i> による単為結果性の発現に 及ぼす影響 ○永井拓実 ¹ ・西川浩次 ² ・ 牧隆宏 ² ・中野龍平 ² ・ 滝澤理仁 ¹ (¹ 龍谷大院農学 研究科, ² 京都大院農学研究 科)
9:45	果 004 リンゴ ‘ふじ’ の高密度栽 培 (トールスビンドル樹形) における着果基準の検討 ○小林達 ¹ ・葛西智 ¹ ・ 澤田歩 ¹ ・古川祥太 ² ・ 坂本康純 ³ ・工藤智 ¹ ・後藤 聡 ¹ ・福田典明 ¹ (¹ 青森産技 セリಂಗ研, ² 青森西北地域 農林事務所, ³ 青森病害虫防 除所)	果 021 温州ミカン S. マルチ栽培 の隔年交互結実栽培法と牛 ふん堆肥を利用した施肥削 減技術 2. 生産年における 樹体生育および樹体栄養 ○松元篤 ¹ ・成富恭平 ² (¹ 佐賀県上場営農センター, ² 佐賀県果樹試験場)	ニホンナシ 2 安田 (高崎) 剛志 果 039 ニホンナシの花粉採取にお ける開花ステージの影響お よび花粉採取量推定 (第 2 報) ○鈴木智砂 ¹ ・柴崎茜 ² ・ 藤沼亮太 ³ ・遠藤啓太 ⁴ ・ 島田智人 ¹ ・平果健史 ⁴ ・ 竹村圭弘 ⁵ (¹ 埼玉農機研セ, ² 埼玉さいたま農林振セ, ³ 電気興業 (株), ⁴ 日本工業大 基幹工学部, ⁵ 鳥取大農学部)	遺伝子解析 2 久保中央 野 004 抵抗性遺伝子 <i>pepy-1</i> と <i>pepy-2</i> の集積はトウガラシ に強力なベゴモウイルス抵 抗性を付与する ○小枝壮太 ¹ ・小野内美佳 ¹ ・ 森菜美子 ¹ ・ボハンナディア シャフィラ ¹ ・白銀隼人 ² (¹ 近畿大院農学研究科, ² タキイ種苗 (株))	野 019 パプリカ長期多段どり栽培 における LED 補光の検討 ○赤沼岳 ¹ ・金子壮 ¹ ・ 菅野秀忠 ¹ ・Maharjan, Gauri ² (¹ 宮城県農業・園芸総合研 究所, ² Signify (旧 Philips Lighting))	野 035 シンク・ソースに基づく 2 つの収量解析モデルを用い たオランダ温室栽培トマト 育種集団の QTL 解析と収 量予測 ○堤ゆたか ^{1,2,3} ・Heuvelink, Er ² ・Khaleghi, Sedighehsadat ² ・ Bustos-KortsDaniela ^{3,4} ・ MarcelisLeo F.M. ² ・VermeerKim M.C.A. ³ ・van Stappen-van DijkHannelore ² ・MillenaarFrank E. ³ ・Van VoornGeorge A.K. ³ ・ BoerMartin P. ³ ・Van EeuwijkFred A. ³ (¹ NIES, ² Wageningen University & Research (HPP), ³ Wageningen University & Research (Biometris), ⁴ Universidad Austral de Chile, ⁵ BASF s vegetable seeds business (Nunhems))
10:00	リンゴ 2 北本尚子 果 005 リンゴ花粉採取専用品種の 特性 ○穴澤拓哉 ¹ ・瓜生武司 ¹ ・ 岡田初彦 ¹ ・竹村圭弘 ² (¹ 福島農総セ果樹研, ² 鳥取 大学農学部)	カンキツ 2 佐藤景子 果 022 水ストレスを与えたナツミ カンの果実特性 ○向井啓雄 ¹ ・八幡昌紀 (静岡大学農学部)	果 040 ナシジョイント V 字トトレ シ樹形における 3D-LiDAR を用いた側枝長および剪定 量の計測 ○柴田高平 ¹ ・岩崎明 ² ・ 浜田和俊 ³ (¹ 愛媛大院連合 農学研究科, ² (株) ファー マインド茨城農園, ³ 高知大 学農林海洋科学部)	野 005 トウガラシ (<i>Capsicum baccatum</i>) の非辛味性の解 明に向けたトランスクリプ トーム解析および QTL の 検証 ○津坂颯次朗 (京都大院農学研究科)	ナス 1 元木航 野 020 盛夏期の気温冷却処理がナ ス品種の光合成および着果 性に及ぼす影響 ○白鳥新之助・村上覚・名 田和義 (三重大院生物資源 学研究科)	トマト 2 前田和也 野 036 バイオスティミュラントと しての GABA 含有乳酸菌発 酵液の施用がトマト腐爛レ 果の発生に及ぼす影響 ○神川諭 ¹ ・山田裕晃 ² ・ 藤森達郎 ² ・田中聡馬 ¹ ・ 佐野太朗 ¹ ・辰巳嘉人 ¹ (¹ 奈良県農業研究開発セン ター, ² 株式会社ファーマ フーズ)
10:15	果 006 圧縮空気方式によるドロー ン授粉用乾燥花粉射出シス テムの性能評価 ○西山総一郎 ¹ ・宮坂明宏 ² ・ 後藤憲 ³ ・清水聡 ³ ・ 大迫祐太郎 ⁴ (¹ 京都大院農 学研究科, ² 東京都市大理工 学部, ³ 国際電気通信基礎技 術研究所, ⁴ 信州大農学部)	果 023 重イオンビーム照射 ‘みえ 紀南 2 号’ の単胚性変異個 体の果実特性と発芽率 ○菅原康太郎 ¹ ・阿部知子 ² (¹ 三重県農業研究所紀南果 樹研究室, ² 理化学研究所仁 科加速器科学研究センター イオン育種研究開発室)	果 041 密植条件下のニホンナシに おける仕立て法の違いが収 量性および果実品質に及ぼ す影響 ○島田智人・鈴木智砂・小 玉太郎・山口凌士 (埼玉県 農業技術研究センター)	野 006 Characterization of a novel chili pepper mutant <i>maf-3</i> exhibiting enlarged ovary and multi-locule fruit formation ○Goen, Jennifer ¹ (¹ 京都大 院農学研究科)	野 021 促成ナス ‘PC 筑陽’ にお ける群落構造の時期別変動 解析 ○河野励 ¹ ・龍勝利 ¹ ・ 末安小百合 ¹ ・日高功太 ² (¹ 福岡農林試験後, ² 農研機 構九冲研)	野 037 ミニトマトの収穫期間およ び光合成に対する GABA 施 用の効果 ○藤森達郎 ¹ ・山田裕晃 ¹ ・ 幸坂歩 ¹ ・中島正登 ² ・瀧谷 九輝 ² ・金英一 ¹ (¹ 株式会社 ファーマフーズ, ² 株式会社 浅井農園)
10:30						

野菜Ⅳ 137	野菜Ⅴ 141	花きⅠ 142	花きⅡ 152	花きⅢ 153	利用Ⅰ 221	時間
ウリ科 木下貴文 野 047 鹿児島県カボチャの早熟作型における自然受粉が可能な播種期 ○依積田智也 ¹ ・前田太郎 ² ・井上広光 ² ・日下石碧 ² ・田中義弘 ¹ ・池澤和広 ¹ (「鹿児島県農業開発総合センター」, 農研機構)	イチゴⅠ 安場健一郎 野 063 イチゴにおける GRP の発現動態と植物体内分布の解析 ○平山夢理 ¹ ・岸田史生 ² ・牧隆安 ² ・中野龍平 ² ・門間敬子 ³ ・成田宏史 ³ ・岡崎史子 ¹ ・滝澤理仁 ¹ (「龍谷大院農学研究科」, ² 京都大院農学研究科, ³ 京都女子大学政学部)	収穫後生理 虎太有里 花 001 ダリアの日持ち性の育種に関する研究 (第13報) 良日持ち性品種「エターニティシャイン」および「エターニティサンセット」切り花の低温貯蔵後の輸送適応性 ○小野崎隆 ¹ ・藤本卓生 ² ・山形敦子 ³ ・辻本直樹 ⁴ ・下村文那 ⁵ ・森高久美 ⁶ ・室井智陽 ⁷ ・秋山祥恵 ⁸ (「 ¹ 東京農大, ² 農研機構野花研, ³ 秋田農試, ⁴ 奈良農研セ, ⁵ 高知農技セ, ⁶ 宮崎総農試, ⁷ 山形県村山普及課, ⁸ 長野野菜花き試)	開花・栄養生理 水谷祐一郎 花 017 クマバチの訪花による物理的刺激がファジの結実率に及ぼす影響 ○深尾賢志 ¹ ・幅裕香梨 ² ・杉山公朗 ³ ・富永晃好 ¹ (「 ¹ 岐阜大院連合農学研究科, ² 静岡大農学部, ³ 藤枝市藤育会)	育種・組織培養 中務明 花 033 リンドウ科有用育種資源 <i>Blackstonia</i> 属の育種利用に向けた染色体倍加と遠縁交雑 ○近藤悠 ¹ ・沖原典史 ² ・出口亜由美 ¹ ・三吉一光 ¹ (「 ¹ 千葉大学大学院園芸学研究院, ² 千葉大学大学院園芸学研究院科)	鮮度保持・貯蔵、 非破壊解析 石丸恵 利 001 ぶしゅかん・直七の青玉果長期貯蔵技術の開発 ○山岡尚幹 (高知県農業技術センター)	9:00
野 048 小玉スイカの冬期栽培における根圏部加温は植物体の生育を改善する。 ○柴崎悠希・Hossain, Md Mukhtar・後藤文之 (佐賀大学農学研究科)	野 064 四季成り性イチゴ品種「夏のしずく」および「なつあかり」における冷蔵ランナー苗の冷蔵条件の検討 ○吉田モモ・本城正憲・濱野恵 (農研機構東北研)	花 002 高濃度スクロース添加処理がトルコギキョウの蕾の開花および花の日持ちに及ぼす影響 ○廣瀬徹 ¹ ・本多秀平 ² ・半田高 ² (「明治大院農学研究科」, ² 明治大学農学部)	花 018 肥効調節型肥料を利用したシクラメン3号鉢の低コスト栽培技術 ○佐藤智博・神谷勝己 (長野県野菜花き試験場)	花 034 ストックにおけるオーバークリング現象の実証と突然変異誘発効率の評価 ○望月夏海 ¹ ・下川卓志 ² ・富永晃好 ¹ (「静岡大院総合科学技術研究科」, ² 量研機構量医研)	利 002 鮮度保持フィルムの大袋と収穫用コンテナを使った貯蔵がウンシュウミカン「青島温州」の果実品質に及ぼす影響 ○杉山泰之 ¹ ・杉本拓磨 ¹ ・鈴木椋子 ¹ ・溝添孝陽 ² (「静岡県立農林環境専門職大学短期大学部」, ² 佐友ベークライト株式会社)	9:15
野 049 Fruit photosynthesis impacts on overall yield and quality of watermelon ○Md Mukhtar, Hossain ^{1,2} ・柴崎悠希 ² ・後藤文之 ^{1,2} (「鹿児島大学連合農学研究科」, ² 佐賀大学農学部)	野 065 遮光の有無と培養液濃度がイチゴの生育と収量に及ぼす影響 ○晴山侑輝・岩崎泰永 (明治大農学部)	花 003 切り花の横箱輸送に適した給水資材の開発 ○市村一雄・名田和義 (三重大院生物資源学研究科)	栽培Ⅰ 深山陽子 花 019 遮光資材の違いや根域冷却がカーネーション「エクセリア」の生育および切り花品質に与える影響 ○金子洋平・前田ふみ (千葉県農林総合研究センター)	花 035 Specific Modulation of Cytokinin on Protocorm Like Body (PLB) Formation and Shoot Organogenesis in <i>Habenaria radiata</i> L. ○Hasibuan, Rifa Fadhilah Munifah ¹ ・高橋和彦 ² ・Deng, Tingrong ¹ ・高橋さくら ² ・鈴木栄 ² (「東京農工大院連合農学研究科」, ² 東京農工大院農学府)	利 003 音響振動測定法を利用した果実の内部障害の非破壊判定 ○櫻井直樹 ^{1,2} ・福田文夫 ³ ・河井崇 ³ ・籠橋駿介 ⁴ ・押田正義 ⁴ (「 ¹ 広大院統合生命科学研究所」, ² (有)生物振動研究所」, ³ 岡大院自然科学研究所」, ⁴ 千葉農林総研セ)	9:30
野 050 ニガウリにおけるうどんこ病抵抗性の遺伝様式の解明 ○儀間康造・友寄敬太 (沖縄県農業研究センター)	野 066 栽培イチゴにおける時計遺伝子の発現と糖蓄積の経時変化 ○計盛晴香・牧隆宏・岸田史生・及川彰・石橋美咲 (京都大院農学研究科)	形態生理・香り 小野崎隆 花 004 キク科ヒマワリ連植物の花弁背軸面における葉性状と日持ち性との関係 ○菊地秀虎 ¹ ・近藤悠 ² ・出口亜由美 ² ・沖原典史 ¹ ・三吉一光 ² (「 ¹ 千葉大学園芸学研究院」, ² 千葉大学園芸学研究院)	花 020 夏秋ギクのセルトレイ育苗期における有効な摘心時期の検討 足立陽子 ^{1,2,3} ・山田有子 ¹ ・八島満里菜 ¹ (「 ¹ 宮城農園総研」, ² 東北大院農学研究科」, ³ 宮城気仙沼港セ)	花 036 コオニユリの二倍体および四倍体における異なる温度条件での花粉管の発達の差異 ○呂依丹 ¹ ・中野有紗 ² ・山岸真澄 ³ ・星野洋一郎 ^{1,2} (「 ¹ 北海道大環境科学院」, ² 北海道大北方生物園フィールド科学セ」, ³ 北海道大院農学研究院)	判別・診断、軟化・細胞壁 伊藤康博 利 004 RGB 画像を用いたタマネギ内部腐敗検出のための撮影角度の検討 ○日浦聡子 ¹ ・奥聡史 ¹ ・高澤あゆみ ² ・塚崎光 ¹ (「農研機構東北研」, ² 富山農総技セ園研)	9:45
ハウレンソウ・レタス 松嶋卯月 野 051 ハウレンソウ遺伝資源の開花特性に対する赤色および青色光の交互照射の影響 ○Le, Tri Manh・大森真由華・執行正義 (山口大学大学院創成科学研究科)	イチゴⅡ 小田篤 野 067 イチゴにおいて花芽分化時の環境で変動する代謝物の器官間差 ○林田祐輝 ¹ ・佐々木亮介 ² ・牧隆宏 ¹ ・岸田史生 ¹ ・及川彰 ^{1,2} ・石橋美咲 ¹ (「 ¹ 京都大院農学研究科」, ² 理研 CSRS)	花 005 ショ糖処理によるカーネーション切り花の香りの向上の検証 ○岸本久太郎 ¹ ・山口博康 ¹ ・鈴木昭良 ² ・鈴木浩仁 ² ・須藤俊哉 ³ (「 ¹ 農研機構」, ² 鈴木農園」, ³ フレネット HIBIYA)	花 021 植物重量を指標とした給液制御システムを活用したガーベラの養液栽培 ○井出美袖莉 ¹ ・大石直記 ¹ ・二俣朗 ¹ ・鈴木幹彦 ¹ ・大澤政敏 ² (「 ¹ 静岡県農林技術研究所」, ² 山本電機株式会社)	休憩	利 005 トマト果実の異常食感の形成とポリガラクトンローゼ遺伝子の発現 ○佐藤直輝 ¹ ・上吉原裕亮 ^{1,2} ・水野真二 ^{1,2} ・東未来 ² ・岩永崇 ² ・土屋正邦 ² ・澤田幸尚 ³ ・曽我綾香 ³ ・立石亮 ^{1,2} (「 ¹ 日本大院生物資源科学研究科」, ² 日本大生物資源科学部」, ³ 神奈川県農技セ)	10:00
野 052 人工気象器における雌雄異株ハウレンソウの性誘導技術の検討 ○米田有希 ¹ ・川嶋浩樹 ² (「農研機構野花研」, ² 農研機構本部)	野 068 苗夜冷短日処理とクラウン冷却処理がイチゴ「紅ほっぺ」の開花や収量に及ぼす影響 ○秋山光雅・望月達史 (静岡県農林技術研究所)	花 006 バラのフルーツ香の起源の解明 (第3報)「シャルル・ルフェーヴル」の香りの解析 ○久保直美 ¹ ・御巫由紀 ² (「 ¹ 農研機構野菜花き部門」, ² 千葉中央博)	休憩	遺伝子解析Ⅰ (形・日持ち・開花) 鳴海貴子 花 037 ベチュニアの脈着色型スターの模様形成に関与する分子メカニズム ○奥田落・田中義行・大野翔 (京都大院農学研究科)	休憩	10:15
						10:30

第1日 9月20日(土) 10:30～12:00

時間	果樹 I 212	果樹 II 222	果樹 III 231	野菜 I 125	野菜 II 127	野菜 III 136
10:30	果 007 AI で花を認識し授粉を行う ドローンシステムの開発 ○大迫祐太郎 ¹ ・山田愛華 ^{1,2} ・ 建石明夏 ¹ ・西山総一郎 ² ・ 後藤遼 ³ ・佛円重文 ⁴ ・ 長坂京香 ² ・中野龍平 ² ・ 山根久代 ² ・田尾龍太郎 ² ・ 宮坂明宏 ⁵ ・上羽正純 ^{6,7} ・ 清水聡 ³ (¹ 信州大農学部, ² 京都大院農学研究科, ³ 国際 電気通信基礎技術研究所, ⁴ 恐 竜りんごファーム, ⁵ 東京都 市大理工学部, ⁶ UAS テクノ, ⁷ 室蘭工業大院工学研究科)	果 024 無核のレモン品種 ‘小笠原 グリーンフラッシュ’ の花 粉稔性と受粉特性 ○宮地尚樹 (東京都小笠原 亜熱帯農業センター)	休憩	野 007 トウガラシの果実サイズに 影響する QTL の検証および 組織学的特徴付け ○牧隆宏・大野翔・中野龍平・ 田中義行 (京都大院農学研究科)	野 022 ナスにおける細胞質雄性不 稔遺伝子ノックアウトライ ンを用いた葯室の経時的観 察 ○辻村真衣 ¹ ・宮田暉大 ² ・ 静貴子 ³ ・有村慎一 ⁴ ・ 寺地徹 ² (¹ 龍谷大農学部, ² 京 産大生命科学部, ³ 京産大植 物科学研究セ, ⁴ 東京大農学 生命科学研究所)	野 038 バイオスティミュラント “GABA” の土壌灌注が低日 照条件下におけるミニトマ トの収量および光合成能力 に与える効果 山田裕晃 ¹ ・藤森達郎 ¹ ・ 幸坂歩 ¹ ・中村新 ² ・○金英一 ¹ (¹ 株式会社ファーマフーズ, ² 株式会社オーガニック nico)
10:45	休憩	果 025 無核性キンカン ‘宮崎夢丸’ の着果安定技術の開発 ○山名宏美 (宮崎総農試)	カキ 高田大輔 果 042 カキわい性台木 ‘豊楽台’ を用いた台木および接ぎ木 苗木育成条件の検討 ○大畑和也・柳野康行・ 持田圭介 (島根県農業技術 センター)	休憩	休憩	野 039 自然栽培土壌がミニトマト の収量, 収量形質および果 実品質に及ぼす影響 ○二見悠輝・鈴木卓・ 実山豊 (北海道大学大学院 農学院)
11:00	リング 3 西山総一郎 果 008 Development of a YOLOv7- based deep learning model for apple cultivar classification ○張健 ¹ ・孟翔吉 ¹ ・李繼濤 ² ・ 星野洋一郎 ^{1,2} (¹ 北海道大 環境科学院, ² 北海道大北方 生物圏フィールド科学セ)	休憩	果 043 ‘市田柿’ における摘らい または摘花の実施が果実品 質および樹体生育へ及ぼす 影響 ○佐藤政明・島袋稚子・ 等々力友也・近藤賢一・ 金子政夫 (長野南信農試)	遺伝子解析 3 松下陽介 野 008 トマトの近縁野生種に由来 する <i>SIKLP</i> 遺伝子を過剰発 現させた形質転換体の解析 ○田部井彩華 ¹ ・野中聡子 ² ・ 池田裕樹 ³ (¹ 宇都宮大院地 域創生科学研究科, ² 筑波大 T-PIRC, ³ 宇都宮大農学部)	ナス 2・アスパラガス 渡辺慎一 野 023 ナス ‘大和丸なす’ のつや なし果発生に関係する環境 条件の検討 ○佐野太郎・神川諭・ 辰巳嘉人・田中聡馬 (奈良 農研セ)	休憩
11:15	果 009 ドローン画像を用いた YOLOv8 + SAHI によるリ ング褐斑病罹病葉の検出と 可視化 ○杉山洋行・牧田奈津・ 齋藤美尚 (富山農総技セ園 研果研セ)	カンキツ 3 太田智 果 026 ユズ (<i>Citrus junos</i> Siebold ex Tanaka) の新規ゲノム構 築と日本における多様性の 評価 ○西村和紗 ¹ ・中野道治 ² ・ 牛島幸一郎 ¹ ・武田尚馬 ¹ ・ 中野龍平 ³ ・加藤鎌司 ¹ ・ 門田有希 ¹ ・西田英隆 ¹ ・ 北島宣 ⁴ (¹ 岡山大学学術研 究院環境生命自然科学研究 科, ² 高知大学農林海洋科学 部, ³ 京都大学大学院農学研 究科, ⁴ 京都先端科学大学バ イオ環境学部)	果 044 携帯型音響振動測定装置を 利用したカキ果実の早期軟 化判別 ○鈴木哲也 ¹ ・新川猛 ¹ ・ 林秀輔 ¹ ・浅野健太 ¹ ・ 櫻井直樹 ^{2,3} (¹ 岐阜農技 セ, ² 広島大院統合生命科学 研究科, ³ (有)生物振動研 究所)	野 009 トマト栽培種の黄化葉巻病 抵抗性遺伝子の分類と判別 マーカーの開発 ○吉川恭平・山口博隆 (農研機構野花研)	野 024 ナスコアコレクションにお ける黒枯病抵抗性系統のス クリーニング ○細美祐子 ¹ ・中村美里 ¹ ・ 宮武宏治 ² (¹ 高知農技セ, ² 農研機構野花研)	トマト 3 山崎彬 野 040 かん水管理の異なる抑制ト マト栽培パイプハウスにお ける蒸発量の簡易測定 ○大木浩・黒田篤 (千葉農 林総研セ)
11:30	果 010 リング褐斑病菌およびリ ング斑点落葉病菌に対するナ シ属の反応 ○森本拓也 ¹ ・能勢未鈴 ¹ ・ 田代美智子 ¹ ・井崎心優 ² ・ 堀礼人 ³ ・末貞佑子 ³ ・ 森谷茂樹 ³ ・澤村豊 ³ ・ 板井章浩 ¹ (¹ 京都府立大院 生命環境科学研究科, ² 京都 府立大生命環境学部, ³ 農研 機構果茶研)	果 027 カンキツ ‘晚白柚’ 品種に おける自家不和合性発現機 構の解明 ○今村花奈子 ¹ ・諫山慧士朗 ² ・ 水上洋一 ² ・湯山育子 ¹ ・ 金貞希 ¹ (¹ 山口大院創成科 学研究科, ² 山口大遺伝子実 験施設)		野 010 ナスのベゴモウイルス抵抗 性遺伝子 <i>Ey-1</i> は NAC45/86- Dependent Exonuclease Domain Protein をコードする ○ボハン ナディア シャフィラ ¹ ・益子嵩章 ² ・ 小枝壮太 ¹ (¹ 近畿大院農学 研究科, ² タキイ種苗(株))	野 025 アスパラガスのハウス半促 成長期どり栽培における ‘あすたま’ 2 年生株の生 育と春芽収量 ○井上勝広 ¹ ・内山拓郎 ² (¹ 長崎農林技セ, ² 島原振興 局)	野 041 利益最大化シミュレーショ ンを用いたトマト施設栽培 の実証 ○寛雄介 ¹ ・上野広樹 ¹ ・ 山崎敬亮 ¹ ・山田健太郎 ² ・ 長屋浩治 ² ・前田健 ³ ・ 安東赫 ¹ (¹ 農研機構野花研, ² 愛知農総試, ³ 岐阜農技セ)
11:45	果 011 リング褐斑病菌 (<i>Diplocarpon coronariae</i>) に対するナシ 属植物の抵抗性程度の評価 ○能勢未鈴 ¹ ・森本拓也 ¹ ・ 田代美智子 ¹ ・大迫祐太郎 ² ・ 堀礼人 ³ ・末貞佑子 ³ ・ 森谷茂樹 ³ ・澤村豊 ³ ・ 長坂京香 ⁴ ・中野龍平 ⁴ ・ 板井章浩 ¹ (¹ 京都府立大院 生命環境科学研究科, ² 信州 大農, ³ 農研機構果茶研, ⁴ 京 都大院農学研究科)	果 028 ダイダイ (<i>C. aurantium</i>) の 花の食利用に向けた摘蕾, 開花方法の検討 ○厚味莉歩 ¹ ・岡愛香梨 ² ・ 松本和浩 ¹ (¹ 静岡大総合科 学技術研究科, ² 岐阜大院連 合農学研究科)		野 011 ナスにおけるベゴモウイル ス抵抗性遺伝子 <i>SmNEN3</i> の 配列比較解析 ○畑夏妃・ボハン ナディア シャフィラ・小枝壮太 (近畿大院農学研究科)	野 026 Aerial crown-like body induction and its application to propagation in asparagus ○Zaland, Wasimullah ¹ ・ 原口果子 ¹ ・水ノ江雄輝 ² ・ 尾崎行生 ² (¹ 九州大院生物 資源環境科学府, ² 九州大院 農学研究院)	野 042 シミュレーションを利用し た高温時のトマト定植日最 適化 ○曹巍 ¹ ・王蕊 ² ・寛雄介 ² ・ 小田篤 ² ・磯崎真英 ² (¹ 農研 機構農情研, ² 農研機構野菜 花研)
12:00						

野菜Ⅳ 137	野菜Ⅴ 141	花きⅠ 142	花きⅡ 152	花きⅢ 153	利用Ⅰ 221	時間
<p>野 053 先行降雨指数を用いたホウレンソウの葉面積指数推定モデルの構築 ○鎌田えりか^{1,2}・落合将暉¹・尾崎行生³ (¹農研機構九冲研,²九州大院生物資源環境科学府,³九州大院農学研究科)</p>	<p>野 069 イチゴ果実の局所冷却による成熟停止を利用した収穫制御手法の開発 ○河崎靖・李雲爽・高橋正明 (農研機構ロボ研)</p>	<p>休憩</p>	<p>栽培Ⅱ 武藤貴大</p> <p>花 022 一定温度条件下における早熟性の異なるトルコギキョウ品種の発蕾までの発育速度の温度反応の比較 ○福田直子¹・牛尾亜由子¹・戸田悠介²・長谷川利拡² (¹農研機構野菜花き部門,²農研機構農環研)</p>	<p>花 038 ガーベラ雄性不稔変異体の組織観察およびトランスクリプトーム解析 ○島田理暉¹・下川卓志²・磯部祥子³・平川英樹⁴・中塚貴司¹・富永晃好¹ (¹岐阜大院連合農学研究科,²量研機構量医研,³東京大院農学生命科学研究科,⁴九州大院農学研究科)</p>	<p>その他 尾形凡生</p> <p>利 006 静岡県の農福連携の成功要因の解明—ユニバーサル園芸と農福連携コーディネーターの役割に着目して— ○岡愛香梨¹・松本和浩^{1,2} (¹岐阜大院連合農学研究科,²静岡大農学部)</p>	10:30
<p>野 054 有機養液栽培の普及に向けた有機物の選定 ○中尾梨菜・山津良太・後藤文之 (佐大院農学研究科)</p>	<p>野 070 促成イチゴにおけるミツバチおよびクロマルハナバチの訪花時間と受精不良果発生の関係 ○植松菜月^{1,4}・村井恒治¹・杉村安都武²・佐野太郎³・辰巳嘉人³・安場健一郎⁴・吉田裕一⁴ (¹徳島農総技セ,²岡山大院環境生命科学研究所学域,³三重農研,⁴奈良農研セ)</p>	<p>花色 森本隼人</p> <p>花 007 黄色系プリムラ・ボリアンサ品種の花色と色素の関係 ○大瀧瑛利¹・立澤文見²・中根孝久³・村井良徳^{1,4}・岩科司⁴・水野貴行^{1,4} (¹茨城大院農学研究科,²岩手大農学部,³昭葉大薬学部,⁴国立科博植物研究部)</p>	<p>花 023 トルコギキョウの発蕾までの発育速度における温度反応のベイズ統計モデル ○戸田悠介¹・福田直子²・牛尾亜由子²・長谷川利拡¹ (¹農研機構農業環境研究部門,²農研機構野菜花き研究部門)</p>	<p>花 039 低温開花性ガーベラの分子メカニズム解析 ○可知優希¹・内田敦夫²・福岡新一²・磯部祥子³・平川英樹⁴・富永晃好¹ (¹静岡大院総合科学技術研究科,²グリーンテック,³東京大院農学生命科学研究科,⁴九州大院農学研究科)</p>	<p>利 007 高知における「酢ミカン」の食文化 ○百田美知¹・北島宣² (¹ひがしこうち香酸柑橘類研究会,²京都先端科学大学バイオ環境学部)</p>	10:45
<p>休憩</p>	<p>休憩</p>	<p>花 008 赤花系ヒマワリにおけるフラボノイドの同定と暗赤色発色への寄与解析 ○出口亜由美¹・菅原孝太郎²・水野貴行³・岩科司³・立澤文見⁴ (¹千葉大院園芸学研究院,²サントリー生科財団,³国立科博植物研究部,⁴岩手大農学部)</p>	<p>花 024 発蕾日を起点としたスタンダードカーネーションの収穫日子測 ○原田正志¹・水谷祐一郎²・廣田智子¹・牛尾亜由子³・八木雅史³ (¹兵庫農技総セ淡路,²兵庫農技総セ農技,³農研機構野花研)</p>	<p>遺伝子解析Ⅱ (色) 秋田祐介</p> <p>花 040 バラの花弁緑色化における色素合成および分解関連遺伝子の発現変動 ○桐山竣太郎¹・山田邦夫²・落合正樹² (¹岐阜大院自然科学技術研究科,²岐阜大応用生物科学部)</p>		11:00
<p>エダマメ 河崎靖</p> <p>野 055 もみ殻炭の連続施用がエダマメ・ホウレンソウ輪作における生育に及ぼす累積的影響 ○FARDUS, JANNATUL・佐藤文生 (農研機構野花研)</p>	<p>イチゴ 3 本間優</p> <p>野 071 種子繁殖型イチゴ‘ベリーポップナ’の本圃直接定植法における作型の検討 ○鈴木俊矢¹・今野誠¹・斎藤健志¹・須藤宙美¹・菊地友佳里² (¹宮城農園総研,²宮城農業振興課)</p>	<p>花 009 ミヤマオダマキの花に含まれる色素成分と青紫色の発現機構 ○秦奇¹・菅原孝太郎²・中根孝久³・本多和茂⁴・立澤文見⁵・岩科司⁶・水野貴行^{1,6} (¹農工大院連合農学研究科,²サントリー生命科学財団,³昭葉大薬学部,⁴弘前大農学生命科学部,⁵岩手大農学部,⁶国立科博植物研究部)</p>	<p>花 025 ユリの発蕾・開花までの日数および切り花品質指標と栽培温度との間の回帰分析 ○稲本勝彦 (農研機構野菜花き研究部門)</p>	<p>花 041 ブーゲンビリアの苞ではαクレードの <i>BpCYP76AD1</i> がベタシアニンだけでなくベタキサンチンの生合成にも関与する ○桐山美桜子・古角里佳・田中義行・大野翔 (京都大院農学研究科)</p>		11:15
<p>野 056 奈良県東部中山間地域における‘丹波黒’エダマメの播種日の検討 ○上田悠平¹・峯圭司²・浅尾浩史¹・森岡正¹・西本登志² (¹奈良農研セ,²奈良北部農振事務所)</p>	<p>野 072 クラウン冷却はイチゴ夏秋どり栽培における秋季収量を増加させる ○本城正憲¹・濱野恵¹・吉田モモ¹・木村鉄也^{1,2} (¹農研機構東北研,²農研機構種苗管理センター)</p>	<p>花 010 バラ‘ペイビーカメレオン’の花色変化におよぼす環境要因 ○櫻井健翔¹・落合正樹²・嶋津光鑑²・山田邦夫² (¹岐阜大院自然科学技術研究科,²岐阜大応用生物科学部)</p>				11:30
<p>野 057 植物工場におけるダイズ通年水耕栽培の実践と栽培時期の影響 ○大島颯太¹・渡邊啓史¹・柴田雅之²・長谷彩花²・中村航³・天保美咲⁴・後藤文之¹ (¹佐賀大学大学院農学研究科,²不二製油グループ本社,³伊藤忠エネクス,⁴大和ハウス工業)</p>	<p>野 073 イチゴ栽培における個葉ベースの受光量が果実生産に及ぼす影響 ○鳥越胡美¹・橋栢芽生²・元木航¹・遠藤みのり¹・後藤丹十郎¹・吉田裕一¹・安場健一郎¹ (¹岡山大学大学院環境生命自然科学研究科,²岡山大学農学部)</p>					11:45
						12:00

時間	果樹 I 212	果樹 II 222	果樹 III 231	野菜 I 125	野菜 II 127	野菜 III 136
9:00	ブドウ1 大迫祐太郎 果 012 果粒の形質および物性に基づくブドウ裂果発生確率の推定モデル ○松崎隆介 ¹ ・尾上典之 ¹ ・東暁史 ¹ ・清水健雄 ² ・上野豪俊 ¹ ・齋藤寿広 ¹ (¹ 農研機構果茶研, ² 農研機構植防研)	遺伝子解析 (ウメ・ブルーベリー) 太田垣駿吾 果 029 サザンハイブッシュブルーベリーにおけるフェノロジー関連形質多様性と果実品質安定性との関係 ○長坂京香 ¹ ・Ebrahiem, Babiker ² ・西山総一郎 ¹ ・山根久代 ¹ ・中野龍平 ¹ ・田尾龍太郎 ¹ (¹ 京都大院農学研究所, ² USDA-ARS)	モモ1 河井崇 果 045 モモ‘夢桃香’のシンガポールへの海上輸送性の評価 ○桐原峻 ¹ ・加藤浩 ² ・手塚誉裕 ¹ (¹ 山梨果樹試, ² 山梨県東農務)	タマネギ・ニンニク・ネギ 宮武宏治 野 012 タマネギの生育過程におけるインベルターゼインヒビター遺伝子の発現変動 ○小谷野理久 ¹ ・上野敬司 ³ ・奥聡史 ² ・清水こはる ¹ ・藤野介延 ¹ ・志村華子 ¹ (¹ 北大院農学院, ³ 酪農大食と健康, ² 農研機構東北研)	ダイコン 池田裕樹 野 027 低 R/FR 光の連続照射によるダイコン <i>FT</i> 遺伝子の日内リズムの抑制と恒常の高発現化 ○元木航 ¹ ・垣田奈海 ² ・後藤丹十郎 ¹ ・安場健一郎 ¹ (¹ 岡山大院環境生命自然科学研究科, ² 岡山大学農学部)	トマト4 王蕊 野 043 施設トマトの計画生産における生育・収量シミュレーションの活用 ○伊藤瑞穂・寛雄介・安東赫・小田篤 (農研機構野菜花き研究部門)
9:15	果 013 着色初期に果房へアブシシン酸散布処理したブドウ‘巨峰’への温度処理が収穫期の果皮色に及ぼす影響 ○杉浦裕義・立木美保・杉浦俊彦 (農研機構果茶研)	果 030 ウメにおける花芽休眠形質関連 QTL の同定 ○杉森未来・林元瑞・向子帆・長坂京香・中野龍平・山根久代・田尾龍太郎 (京都大院農学研究所)	果 046 種間交雑により得られた、挿し木発根性を有するモモ台木 ○岡田初彦 ¹ ・佐久間宣昭 ² ・志村浩雄 ¹ (¹ 福島農総セ果樹研究所, ² 福島農総セ)	野 013 タマネギの生育ステージごとに発現するフルクタン加水分解酵素の機能解析 ○三好沙季 ¹ ・上野敬司 ² ・奥聡史 ³ ・清水こはる ¹ ・藤野介延 ¹ ・志村華子 ¹ (¹ 北大院農, ³ 酪農大食と健康, ² 農研機構東北研)	野 028 ダイコン黒斑細菌病の新たな低抗性評価法の開発 ○阪本萌乃佳・吹野伸子・川崎光代・柿崎智博 (農研機構野菜花き研)	野 044 トマトの摘葉処理を利用した葉面積と乾物重の拡張アロメトリックスケーリング解析 ○磯山陽介 ^{1,2} ・清野健 ² (¹ 三重農研, ² 大阪大院基礎工学研究科)
9:30	果 014 CPPU 処理がブドウ‘シャインマスカット’の果実品質に及ぼす影響 ○上野真聖 ¹ ・塩谷諭史 ¹ ・網中麻子 ¹ ・宇土幸伸 ² (¹ 山梨果樹試, ² 山梨果樹6次課)	果 031 アンズウメ品種における雑種雄性不稔性因子特定に向けたトランスクリプトーム解析 ○北村祐人 ¹ ・森本拓也 ² ・南條陽美 ¹ ・篠田成道 ¹ ・柏本知晟 ³ (¹ 摂南大学農学部, ² 京都府立大院生命環境科学研究科, ³ 和歌山果樹試うめ研)	果 047 台木品種の低温要求量の違いが穂木品種の生育に及ぼす影響 ○香西直子 ¹ ・遠藤大知 ¹ ・別府賢治 ² ・山本雅史 ¹ (¹ 鹿児島大学農学部, ² 香川大学農学部)	野 014 春まきタマネギにおいて収穫時のりん茎重に影響を及ぼす生育ステージの解析 ○山内大輔・日浦聡子・奥聡史・木下貴文 (農研機構東北研)	野 029 フレンチマリーゴールドすき込みによるダイコンへの肥料効果の推定 (第2報) 空撮画像による面的推定に適する指標の解明 ○田村創 ¹ ・芹川誉 ² ・宮本昇 ¹ ・高野幸成 ¹ ・町田剛史 ¹ (¹ 千葉農林総研セ, ² 群馬中部農事務所)	野 045 閉鎖型育苗施設でのトマト水胞症の発症に及ぼす照明の強さ、時間、CO ₂ 濃度の影響 ○吉水竜次・宮下健一 (株式会社エルム)
9:45	ブドウ2・マタタビ属 東暁史 果 015 シャインマスカット/5BB 台木の短梢せん定栽培樹における果房、せん定枝中の推定窒素量 ○土田河 ¹ ・桐崎力 ² (¹ 長野県果樹試験場, ² 南信州農業農村支援センター)	遺伝子解析 (カキ・リンゴ・ニホンナシ) 長坂京香 果 032 完全甘ガキ形質決定遺伝子候補の機能解析 ○藤原陽介・西山総一郎・山根久代・田尾龍太郎 (京都大院農学研究所)	果 048 複数の Lidar で採取したモモ樹の三次元再構築データの比較 ○高田大輔 ¹ ・郭威 ¹ (¹ 福島大学農学群, ² 東京大学農学生命科学研究科)	野 015 西南暖地でのニンニクの安定生産に関する研究 (第1報) ニンニクの花茎及び側芽の分化条件の検討 ○村上裕一 ¹ ・中村智哉 ² ・池内隆夫 ¹ (¹ 香川農試, ² 香川県農業生産流通課)	コマツナ 小枝壮太 野 030 紫外線 (UV) で損傷したコマツナ DNA を修復する青色光照射条件の探索 ○彦坂晶子・川原田倫治・吉田英生・後藤英司 (千葉大学園芸学研究院)	野 046 トマトつるおろし誘引栽培に対応した植物重量給液制御システムの開発 大石直記 ¹ ・〇二俣翔 ¹ ・大澤正敏 ² (¹ 静岡農林技研, ² 山本電機 (株))
10:00	果 016 キャビテーションプラズマ水によるブドウ病害菌への防除効果 ○尾道景子 ¹ ・山崎貴史 ¹ ・岡好浩 ² (¹ キリンホールディングス (株), ² 兵庫県大院工)	果 033 国内外栽培ガキにおける集団構造と果実形質の関連 ○堀内綾乃 ^{1,2} ・尾上典之 ³ ・松崎隆介 ³ ・西村和紗 ² ・白澤健太 ⁴ ・久保康隆 ² ・牛島幸一郎 ² ・赤木剛土 ² ・南川舞 ⁵ (¹ 千葉大院園芸学研究所, ² 岡山大院環境生命自然科学研究科, ³ 農研機構果茶研, ⁴ かずさ DNA 研究所, ⁵ 千葉大国際高等研究基幹)	モモ2 香西直子 果 049 長野県におけるモモ樹の生育不良の発生要因の解析 ○船橋徹郎・棚橋香月 (長野果樹試)		野 031 発芽に対する効果が異なる種子に対する超音波の作用機構の検討 ○切岩祥 and ¹ ・井久保愛 ¹ ・木下あずさ ² ・大野幸子 ¹ ・鈴木克己 ¹ (¹ 静岡大農学部, ² 岐阜大院連合農学研究所)	
10:15						

野菜Ⅳ 137	野菜Ⅴ 141	花きⅠ 142	花きⅡ 152	花きⅢ 153	利用Ⅰ 221	時間
その他 1 遠藤みのり 野 058 気象データを利用したブ ロッコリーの 3 品種の簡易 的な生育モデルの開発 ○大石麻南登 ¹ ・杉浦妃奈子 ² ・ 佐藤文生 ² ・藤岡宏樹 ¹ (¹ 農研機構農情研, ² 農研機 構野菜花研)	イチゴ 4 吉田裕一 野 074 一季成りイチゴ ‘にこにこ ベリー’ における光利用効率 と果実の乾物率及び分配率 ○斎藤健志・金子壮・今野誠・ 鈴木俊矢・須藤宙美 (宮城 農園総研) 野 075 イチゴ ‘兵庫 I-3 号’ およ び ‘兵庫 I-4 号’ の液体培 養苗における親株および定 植株の特性評価 ○加藤もも ¹ ・木田龍之介 ² ・ 川戸大雅 ³ ・小山竜平 ³ ・ 野間貴文 ⁴ ・鬼丸浩典 ⁴ ・ 宇野雄一 ³ (¹ 兵庫県立農林 水産技術総合センター, ² 阪 神農林振興事務所, ³ 国立大 学法人神戸大学, ⁴ 第一実業 株式会社) キャベツ 松永明子 野 076 兵庫県の冬どりキャベツに おける結球重増加モデルに よる収穫日子予測 ○中野伸一 ^{1,2} ・赤首道雅史 ¹ ・ 菅原幸治 ³ (¹ 兵庫農技総セ, ² 神戸大院農学研究科, ³ 農 研機構野菜花き部門) 野 077 キャベツ寒玉系品種におけ る内部黒変症の形質要因の 解明 ○鈴木結花・町田剛史 (千葉農林総研セ) 野 078 キャベツにおいて接ぎ木に よる開花誘導への応答性の 違いを生む QTL の同定 ○阿部日向子 ¹ ・木下有羽 ² ・ 西村和紗 ¹ ・鈴木悠太 ³ ・ 鹿島誠 ³ ・遠藤みのり ¹ ・ 後藤丹十郎 ¹ ・安場健一郎 ¹ ・ 元木航 ¹ (¹ 岡山大院環境生命 自然科学研究科, ² 京都大院 農学研究科, ³ 東邦大理学部)	遺伝子解析Ⅲ (色) 樋口洋平 花 011 キク科の黄色花におけるイ ソリキリチゲニン生合成に 関わる <i>DvAKRI</i> ホモログの 機能解析 ○仲井智也・田中義行・ 大野翔 (京都大院農学研究科) 花 012 キクタニギク白花粉変異体 原因遺伝子の解析 ○夏目弘樹 ¹ ・西村和紗 ² ・ 森脇幸太 ¹ ・豊倉浩一 ¹ ・ 谷口研至 ¹ ・草場信 ¹ (¹ 広 大統合生命科学研究科, ² 岡大 環境生命自然科学学域) 花 013 葉緑・葉脈特異的発現プロ モーターによるタバコの葉 色改変 ○DENG, TINGRONG ¹ ・ 山口恵実 ² ・Hasibuan, Rifa Fadhilah Munifah ¹ ・ 高橋さくら ² ・鈴木栄 ² (¹ 東京農工大院連合農学研 究科, ² 東京農工大院農学府)	遺伝子解析Ⅳ (花色) 出口亜由美 花 026 セントポーリアにおける MYB 遺伝子の優性変異に よる色素消失形質の発現 ○倉田大地 ¹ ・小林和暉 ¹ ・ 山崎彬 ¹ ・中野龍平 ² ・ 細川宗孝 ^{1,3} (¹ 近畿大院農 学研究科, ² 京都大院農学研 究科, ³ 近畿大アグリ技研 (ATIRI)) 花 027 セントポーリアにおける花 弁薄色化候補遺伝子の特定 ○小林和暉 ¹ ・倉田大地 ¹ ・ 立澤文見 ² ・山崎彬 ¹ ・ 中野龍平 ³ ・細川宗孝 ^{1,4} (¹ 近畿大院農学研究科, ² 岩 手大農学部, ³ 京都大院農学 研究科, ⁴ 近畿大アグリ技研 (ATIRI)) 花 028 リンドウ花卉のフラボノイ ド生合成における CH11・ CH12 の冗長的機能と CHI- like の関与 ○田崎啓介 ¹ ・安藤綺夏 ¹ ・ 近藤佳乃衣 ² ・升田匠人 ² ・ 吉田モモ ² ・吉田千春 ³ ・ 西原昌宏 ⁴ (¹ 東京農大農学 部, ² 東京農大院農学研究科, ³ 岩手生工研セ, ⁴ 福井県立大)		9:00 <	

第2日 9月21日(日) 10:15～11:00

時間	果樹 I 212	果樹 II 222	果樹 III 231	野菜 I 125	野菜 II 127	野菜 III 136
10:15	果 017 ネコのマタタビ反応の原因成分ネベタクトールのマタタビ属植物における蓄積 ○有瀬慎太郎 ¹ ・片岡郁雄 ² ・大野健太郎 ² ・別府賢治 ² ・西川俊夫 ¹ ・宮崎雅雄 ³ ・上野山怜子 ³ ・関本奏子 ⁴ ・白武勝裕 ¹ (¹ 名古屋大院生命農学研究科, ² 香川大農学部, ³ 岩手大農学部, ⁴ 横浜市立大院生命ナノシステム科学研究科)	果 034 挿し木発根性の異なるリンゴ台木 M.9 とマルバカイドウにおける RNA-seq 解析 ○森谷亮太 ¹ ・森谷茂樹 ^{2,3} ・西山学 ¹ ・加藤一幾 ¹ ・金山喜則 ¹ (¹ 東北大院農学研究科, ² 農研機構果茶研, ³ 農水省農林水産技術会議事務局)	果 050 気象予報を利用したモモ「あかつき」の発育予測 ○志村浩雄 ¹ ・安達義輝 ² ・岡田初彦 ¹ ・杉浦俊彦 ³ (¹ 福島農総セ果樹研, ² 福島県県北農林事務所伊達農業普及所, ³ 農研機構果茶研)			
10:30		果 035 ニホンナシ '巾着' の黒星病抵抗性遺伝子 <i>Rvn1</i> はエチレン誘導性キシラナーゼ受容体様遺伝子のクラスターに位置する ○西尾聡植 ¹ ・寺上伸吾 ¹ ・吉田卓司 ² ・立木美保 ¹ ・竹内由季恵 ¹ ・高田教臣 ¹ ・宮田翔 ¹ ・白澤健太 ³ (¹ 農研機構果茶研, ² 農研機構植防研, ³ かずさ DNA 研)	果 051 肉質・成熟期が異なるモモの果実発育期間における成熟様相の比較 ○一木昂大 ¹ ・吉村諒介 ² ・向井琉晴 ³ ・福田文夫 ³ ・河井 崇 ³ (¹ 岡山農学部, ² 岡山農研, ³ 岡山大院環境生命自然科学研究科)			
10:45			果 052 3D Gaussian Splatting を用いたバラ科果樹 6 種の三次元果実成長解析 ○新保彩萌 ¹ ・久住あかね ¹ ・西山総一郎 ¹ ・森本拓也 ² ・山根久代 ¹ ・板井章浩 ² ・田尾龍太郎 ¹ (¹ 京都大院農学研究科, ² 京都府立大院生命環境科学研究科)			
11:00						

野菜Ⅳ 137	野菜Ⅴ 141	花きⅠ 142	花きⅡ 152	花きⅢ 153	利用Ⅰ 221	時 間
		花 016 Identification of anti-florigen genes variants in cultivated chrysanthemums ○ CAI, JIAYUE・磯部祥子・ 樋口洋平（東京大学）	花 031 トレニアの花弁表皮細胞の 形態に関わる遺伝子の探索 ○岩本知優・由良真穂・ 矢野静香・鳴海貴子（香川 大学農学部）			10:15
			花 032 ユリ花被の柔組織では核の 形態変化が表皮組織より早 く生じる ○森本隼人・渋谷健市 （農研機構野花研）			10:30
						10:45
						11:00